

平成 30 年度 第 1 回伊那北高等学校評議員懇談会報告

学校評議員運営委員会

I	日 時	平成 30 年 7 月 19 日 (木)	15:00~17:00
II	会 場	伊那北高等学校 高志館	1 階研修室
III	出席者	〔評議員〕 小松 雅人 (義務教育関係)	大神田 淳子 (大学関係)
		傳田 智子 (上伊那広域連合)	原 胤勇 (自治会等関係者)
		上野 美穂 (企業関係者)	大野田 文吉 (同窓会関係者)
		宮下 聡子 (保護者)	
		〔職 員〕 校長 教頭 事務長 河合 (教務) 大石 (進路)	
		登内 (生徒指導) 小野 (特別支援) 有賀 (PTA) 田村 (職場代表)	
IV	次 第	1 委嘱状交付	
		2 学校長挨拶	
		3 自己紹介	
		4 本校の概況について (学校からの報告)	
		(1) 学習進路指導について	(2) 生徒指導について
		(3) 特別支援教育及びカウンセラーの活用について	
		(4) 学校評価について	(5) クロスペンアカデミーについて
		(6) その他	
		5 意見交換	
		6 学校長挨拶	

意見交換会で出された質問・意見等

1 学校教育全般について

・伊那北生をどのように育てていくか、自主自立の観点から全職員が“人間を育てる”という強い

気持ちをもって教育にあたってもらいたい。

・生徒たちが自己肯定感を持てるようにしてほしい。

2 生徒指導及び基本的な生活習慣について

・心のケアの必要性は理解しているが、最近の状況について説明してほしい。(特別支援担当回答)

・こちら(地域の方)～挨拶をすれば応えるが、自分から挨拶をする高校生が少ない(他校の生徒のほうが挨拶をする)。

・降雪時の学校入り口付近での送迎は危険であるため注意を促してほしい。(生徒指導担当回答)

3 学習・進路指導について

・ICT 機器の整備、活用状況を教えてほしい。(進路担当回答)

・今後求められる 21 世紀型学力をどのように身に付けさせるか、取組の状況を知りたい。(進路担当回答)

・キャリア教育を“人生を豊かにするため”の教育ととらえ、課題解決に必要となる「協同」、「コミュニケーション」といった要素を取り入れた様々な大人と関わる機会を増やしてほしい。

・地域、外部機関と連携したキャリア教育を推進してほしい。

4 その他

・CPA 教養講座について、内容、講師の確保等具体的に説明してほしい。(昨年度 CPA 担当回答)

・子どもたちが将来地元に戻ってこられるようになると良い。